

令和5年度進行管理・評価シート
棚倉町 歴史的風致維持向上計画（令和2年6月24日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 棚倉町歴史的風致維持向上計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 良好な景観を形成する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 棚倉城下町の歴史的建造物調査事業	3
2 歴史的風致形成建造物保存支援事業	4
3 史跡棚倉城跡保存活用計画・整備計画策定事業	5
4 赤館城跡周辺調査事業	6
5 棚倉城跡周辺道路整備事業	7
6 棚倉城下道路整備事業	8
7 馬場都々古別神社門前環境整備事業	9
8 伝統文化・技術の職人及び担い手育成事業	10
9 民俗芸能団体の活動支援事業	11
10 まつり助成事業	12
11 棚倉城跡観光拠点施設整備事業	13
12 ARアプリ整備事業	14
13 赤館公園整備事業	15
14 周遊性向上・案内板等整備事業	16
15 多言語周遊型観光パンフレット作成事業	17
16 歴史案内人育成事業	18
17 小中学生の認識向上推進事業	19
18 歴史・文化財学習講座事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査・指定・保存管理に関する取り組み	21
2 文化財の周辺環境整備・防災・防犯に関する取り組み	22
3 文化財の普及啓発・民間団体への助成・支援・連携等に関する取り組み	23
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	24
⑥その他(効果等)(様式1-6)	25

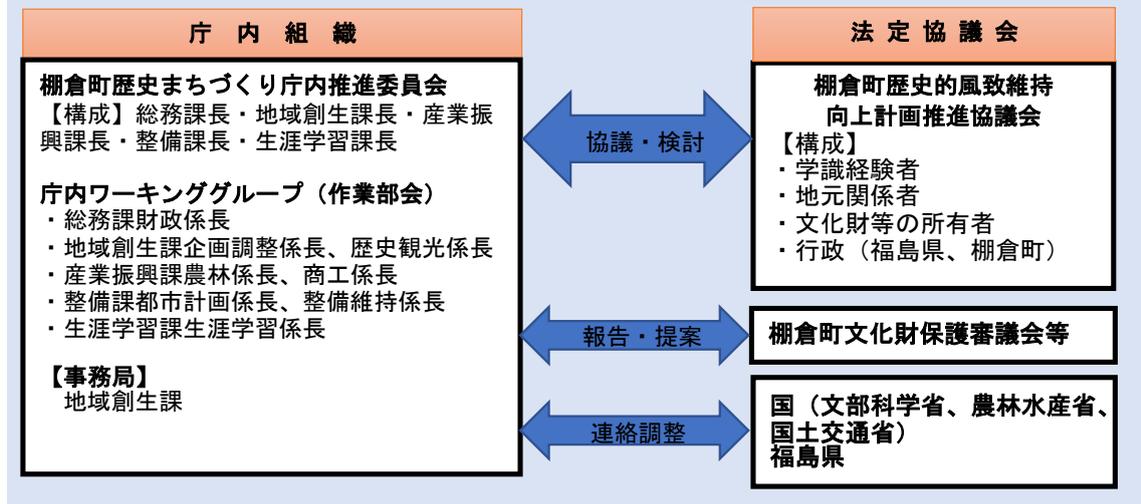
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
<p>棚倉町歴史的風致維持向上計画の推進体制</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
<p>計画に記載している内容</p>	<p>地域創生課を事務局とし、平成31年度に組織した「棚倉町歴史まちづくり庁内推進委員会」及び作業部会の「棚倉町歴史まちづくり庁内ワーキンググループ」を中心に関係各課が連携して、事業手法、計画の変更や調整等検討していく。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「棚倉町歴史的風致維持向上計画推進協議会」において協議・検討を行い、計画の推進を図っていく。さらに、必要に応じ、棚倉町文化財保護審議会をはじめ、計画の推進に関係する協議会・審議会等とも連絡調整を行う。</p>	
<p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p>		
<p>棚倉町歴史的風致維持向上計画推進協議会及び棚倉町歴史まちづくり庁内ワーキンググループを開催し、計画の推進や事業の進捗状況について協議を行った。 各事業の実施にあつては、関係課と連携し実施した。</p>		
<p>進捗状況 ※計画年次との対応</p>	<p>実施・検討にあつての課題と対応方針(自由記述)</p>	
<p><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している <input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</p>	<p>引き続き、庁内組織が連携して事業等について検討・実施していくとともに、歴史的風致維持向上計画推進協議会と協議・検討を行い計画を推進していく。</p>	

状況を示す写真や資料等

棚倉町歴史的風致維持向上計画推進体制



○会議等の開催状況

- 令和5年7月6日 庁内ワーキンググループ
 - ・計画事業について協議
- 令和6年2月15日 棚倉町歴史的風致維持向上計画推進協議会
 - ・歴史的風致形成建造物の指定及び候補について
 - ・令和5年度進捗評価について
 - ・計画の変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
良好な景観を形成する施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・都市計画法との連携
重点区域の全域が非線引きの都市計画区域に包含されており、用途地域と用途地域外の両方が存在している。さらに、用途地域では、住居系用途、商業系用途、工業系用途が混在している。
- ・景観法との連携
「福島県景観計画」による景観計画区域に町全域が指定されている。
- ・屋外広告物に関する規制との連携
重点区域内には、原則、屋外広告物を表示できない特別規制地域と市町村長の許可が必要になる普通規制地域が混在している。
- ・棚倉町農業振興地域整備計画との連携
重点区域内では都市計画の用途地域以外の区域が農業振興地域に指定されている。
- ・自然公園に関する規制との連携
重点区域内の棚倉城跡の4.9haが、福島県立自然公園条例に基づく奥久慈県立自然公園(棚倉城跡地区)に指定されている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

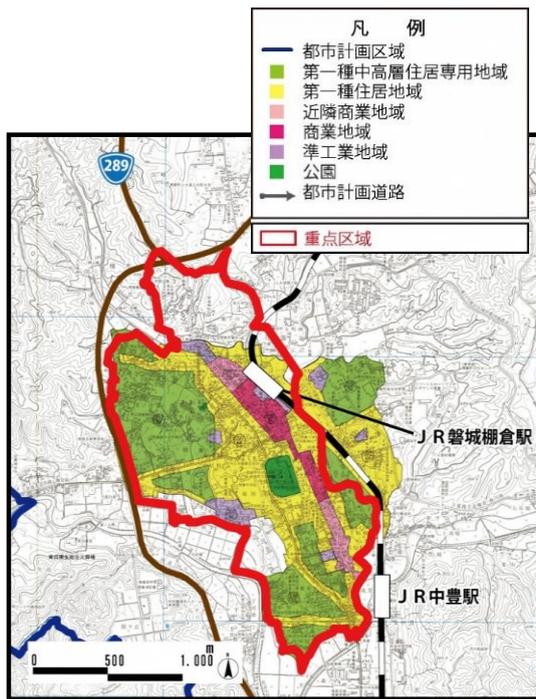
良好な景観の形成のため、各種施策と連携して運用した。
重点区域内の屋外広告物許可件数: 14件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

自然と歴史的風致が一体となった良好な景観が形成されるよう、引き続き各種施策と連携する。

状況を示す写真や資料等



重点区域と都市計画区域の区域図



重点区域と屋外広告物規制の区域図

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
棚倉城下町の歴史的建造物調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内における歴史的建造物の保存・活用を推進するため、建造物の構造や建築年次等を調査し、歴史的風致形成建造物の候補となる建造物の抽出を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の指定に向けた基礎調査を実施し、対象建造物を抽出した。 ・歴史的風致形成建造物の指定候補:1建造物 ・歴史的風致形成建造物の候補:3建造物			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き調査を行い、歴史的風致形成建造物の候補を順次決定する。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">重点区域内に残る歴史的建造物</p>			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和11年度
支援事業名	社会資本総合整備交付金(街なみ環境整備)

計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物の保全をするための、耐震化及び外観の修景、内装整備等の事業を支援し、歴史的風致形成建造物として保存する。
-------------	----------------------------------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物保存に向けた支援事業について検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	支援事業について、修景しようとする建造物があるか不透明。制度の周知、歴史的建造物所有者への働きかけについて検討した。

状況を示す写真や資料等



歴史的風致形成建造物の候補

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
史跡棚倉城跡保存活用計画・整備計画策定事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和4年度

支援事業名 史跡等保存活用計画等策定事業

計画に記載している内容 国指定の史跡である棚倉城跡の調査を行い、現状を把握したうえで、策定委員会を組織し、棚倉城跡の適切な保存及び効果的な活用を行うための保存活用計画を策定する。また、保存活用計画策定後に棚倉城跡の整備の方針を固め、整備計画策定に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年3月に「棚倉城跡保存活用計画」を策定した。棚倉城跡の具体的な保存整備・活用に向けて事業の進捗を図っていくため、令和3年度～令和4年度の2カ年で「棚倉城跡整備基本計画」の策定に取り組んだ。

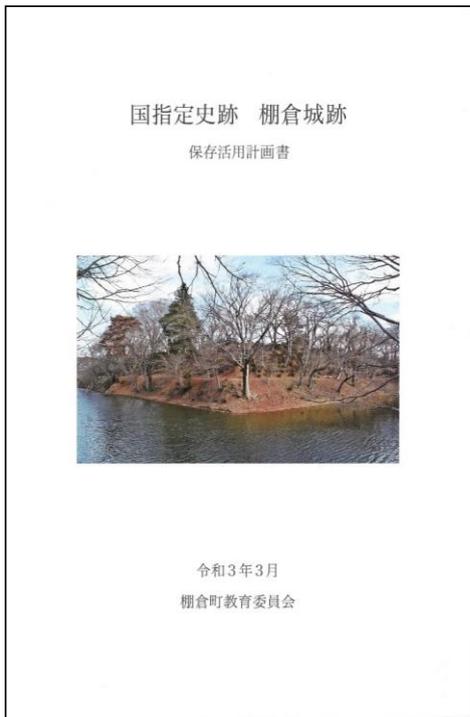
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

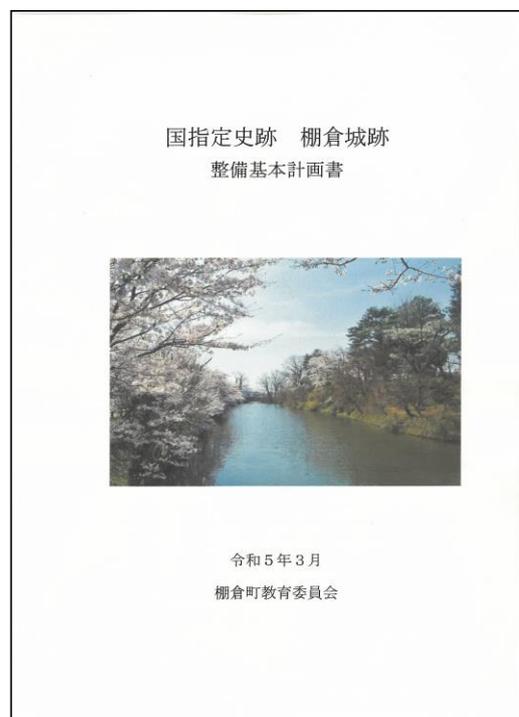
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

整備基本計画の策定にあたっては、専門的な見地からの指導・助言を受けるため、棚倉城跡整備基本計画策定委員会を設置した。
 なお、令和4年度の計画策定をもって本事業は完了している。

状況を示す写真や資料等



保存活用計画書



整備基本計画書

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
赤館城跡周辺調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	町単独事業

計画に記載している内容 赤館城跡の適切な管理、効果的な活用を行うために、赤館城跡及びその周辺において測量、発掘等の調査を行い、城郭の現状把握をする。

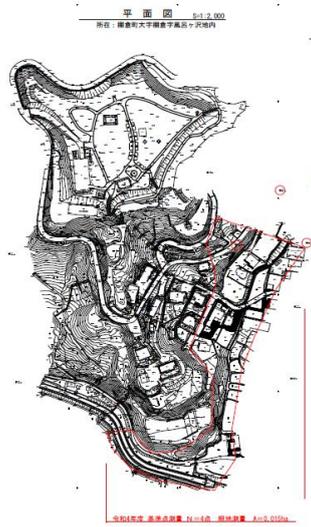
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

赤館城跡の主郭部周辺の測量図作成等を行った。令和8年度までに国史跡指定化を目指して、継続的に調査を行っていく。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者、関係部局との連携を強化していく必要がある。また、調査成果について住民への説明会等を実施し、理解を深めていく。
------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等



赤館跡測量図



赤館跡航空写真

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
棚倉城跡周辺道路整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～令和11年度		
支援事業名	社会資本総合整備交付金(街なみ環境整備)		
計画に記載している内容	棚倉城跡周辺地区において、城跡の景観に調和した空間の整備を図るため、道路の美装化や道路構造物の改修等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
実施計画に基づき下記事業を実施した。 ○棚倉城跡周辺道路街路灯整備工事 ・街路灯灯具更新…15台、街路灯新設…4基、街路灯電柱共架…6台、既設街路灯撤去…6基 ○棚倉城跡周辺道路整備詳細設計業務委託 詳細設計延長 L=1.00km ・測量業務、道路詳細設計			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	設計成果品に基づき、周辺の環境と調和する道路美装化及び街路灯整備を行っている。		



事業位置



現在の棚倉城跡周辺道路街路灯



現在の棚倉城跡周辺道路

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
棚倉城下道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和11年度

支援事業名 社会資本総合整備交付金(街なみ環境整備)

計画に記載している内容 歴史的建造物が多く存在する棚倉城下町地区において、地域住民等の周遊性向上や歴史的建造物と調和した景観形成を目的に歩道の美装化を行う。また、歩道の整備にあわせて、歩道部にある構造物(街路灯・町堀)を改修する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

実施計画に基づき下記事業を実施した。
 ○棚倉城下道路街路灯整備工事(新町工区)
 街路灯灯具更新…29台、街路灯電柱共架…19台、既設街路灯撤去…20基
 ○棚倉城下道路街路灯整備工事(古町工区)
 街路灯灯具更新…24台、街路灯電柱共架…18台、既設街路灯撤去…37基
 ○棚倉城下道路整備詳細設計業務委託(新町工区)
 詳細設計延長 L=0.89km
 ・測量業務、道路詳細設計

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 設計成果品に基づき、周辺の環境と調和する歩道の美装化、側溝整備を含めた道路整備及び街路灯整備を行っていく。

状況を示す写真や資料等



事業位置



現在の棚倉城下道路街路灯



現在の棚倉城下道路

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
馬場都々古別神社門前環境整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本総合整備交付金(街なみ環境整備)		
計画に記載している内容	馬場都々古別神社門前地区の道路美装化や水路整備をはじめとした環境整備を行う。また、馬場都々古別神社周辺に地区住民等の街歩きの拠点となり、交流・憩いの場としても活用可能な施設の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
実施計画に基づき下記事業を実施した。 ○馬場都々古別神社門前環境整備(道路・水路)詳細設計業務委託 詳細設計延長 L=0.25km ・測量業務、道路詳細設計			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的建造物・町並み・道路・水路・街歩き拠点等が調和するトータルデザインを検討しながら事業を進めていく。		

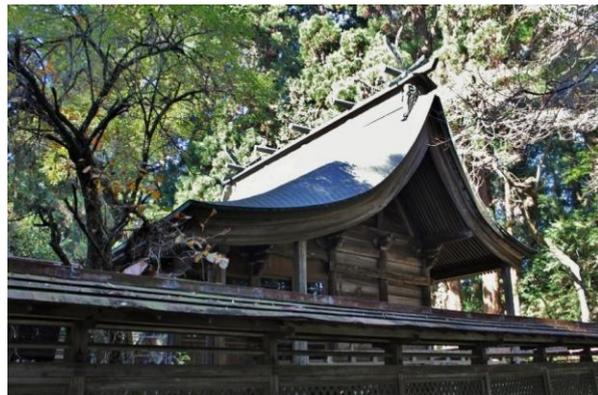
状況を示す写真や資料等



事業位置



現在の馬場都々古別神社門前地区



馬場都々古別神社本殿

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
伝統文化・技術の職人及び担い手育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 少子高齢化や人口減少により衰退しつつある伝統文化・技術が承継できるよう、後継者育成のための環境整備や、和菓子職人をはじめとした伝統文化・技術を引き継ぐ職人及び担い手などの育成活動に対して支援を行い、後継者を育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町内小学生を対象とした職場体験において、昭和初期創業の和洋菓子店から和菓子づくり体験を通して、参加児童の伝統技術に対する興味・関心の醸成が図られた。
 なお「近津小学校郷土史クラブ」については、御田植祭での巫女舞の披露をはじめとした活動が継続されており、伝統文化が継承されている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	高齢により廃業してしまった和菓子職人がおり、このことから職人の後継者育成が急務となっている。町として具体性、実効性、即効性のある支援が必要である。
------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等



職場体験の様子



御田植祭巫女舞の様子

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
民俗芸能団体の活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和2年度～令和11年度
支援事業名	町単独事業

計画に記載している内容
 重要無形民俗文化財に指定されている「都々古別神社の御田植」や「お枅明神の枅送り行事」をはじめとした民俗芸能の承継に取り組んでいる団体等に対し、必要に応じて学識経験者の指導、助言を得ながら、活動費の補助を行うとともに、支援や助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の2件について支援等を行った。
 ○都々古別神社の御田植
 旧暦1月6日に開催される「都々古別神社の御田植」は、保存会と楽人会、神社の協力により実施された。
 ○お枅明神の枅送り行事
 後継者育成と伝統技術習得の活動を行っている保存会へ活動費助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	民俗芸能の伝承に際しては後継者不足と技術の伝承が大きな課題であり、保存団体と協力して後継者の育成に取り組む。
------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等



御田植祭の様子

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
まつり助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 十萬石棚倉城まつりや秋まつりなど、町内で行われているまつりの実行委員会等に対して、必要に応じて学識経験者の指導、助言を得ながら、事業費の補助等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「十萬石棚倉城まつり」は、新型コロナウイルス感染症の影響等によるイベントの在り方を検討するなかで平成31年度の開催をもって終了となってしまった。(後に続くイベントとして、令和4年度から「たなぐらsakuraマルシェ」が開催されている。たなぐらsakuraマルシェは地元企業PRがコンセプトとなり、観桜行事としての一端はあるが、町の文化や歴史に触れられるイベントではなくなってしまった。)

「棚倉秋まつり」については例年通りの規模で開催された。

棚倉町まつり事業補助金交付実績
 ・たなぐらsakuraマルシェ 1,280,000円
 ・棚倉秋まつり 855,000円

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史あるまつり行事を絶やさぬよう適時適切に関係団体への助言、支援を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



棚倉秋まつり

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
棚倉城跡観光拠点施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和7年度～令和9年度

支援事業名 町単独事業

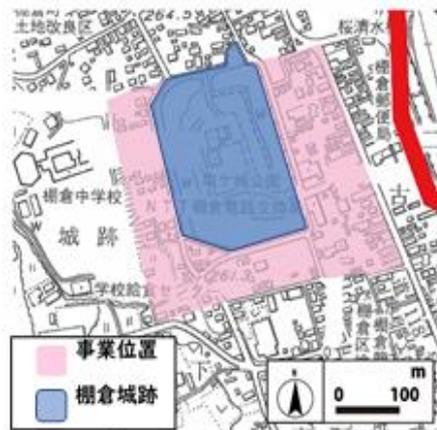
計画に記載している内容 城下町の周遊の拠点となる観光案内施設がない状況にあるため、今後の棚倉城跡の遺跡保存に配慮しながら、来訪者に対し、文化財や歴史的建造物等の情報発信を行い、城下の街並みへの周遊性向上を図るため観光拠点施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度に策定した事業実施計画に基づき、整備内容の検討を進めた。棚倉城跡は史跡に指定されていることから、文化財部局と連絡調整を図りながら、庁内ワーキンググループ等で事業の検討を進めた。また、既存施設を利用した観光案内施設の整備についても検討を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	棚倉城跡保存活用計画・整備計画と関連のある事業なので、文化財部局と密に連絡調整をしながら、事業位置・デザイン等を検討していく必要がある。庁内ワーキンググループや庁内推進委員会等も活用して意見聴取しながら事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等



事業位置



春や秋をはじめ観光客が多く訪れる棚倉城跡

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
ARアプリ整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 スマートフォンやタブレット端末の画面に棚倉城の本丸や隅櫓などを再現するARアプリを開発するとともに、棚倉城跡周辺にARアプリへ誘導するQRコード付き案内板を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

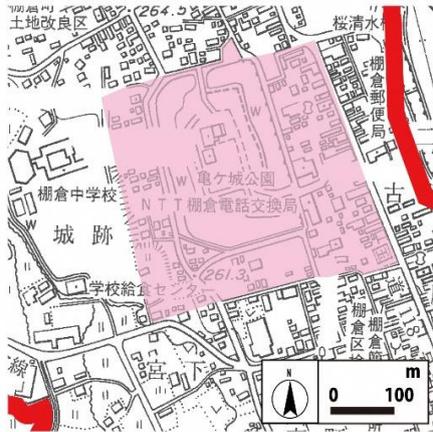
先進事例等の研究を行い、具体的な事業内容と整備の方法について、庁内ワーキンググループ等で事業の検討を進めた。また、都市再生整備計画の策定作業を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

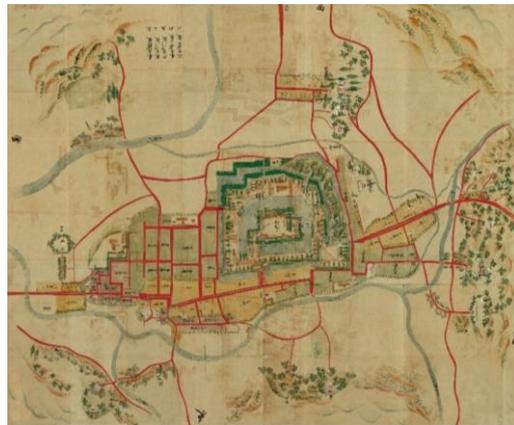
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

史料等が少なく、今後とも収集が必要である。文化財部局と密に連絡調整をしながら、アプリのデザイン等を検討していく。また、技術の進歩を見極めながら適切な整備が必要である。

状況を示す写真や資料等



事業位置



棚倉城跡周辺の古地図(日本古城絵図より)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
赤館公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 赤館城跡内に位置し、観光地である赤館公園の来訪者の利便性向上と観光誘客促進のため、トイレの改修をはじめとした利便性向上施設の整備や本町の街並みを一望できる立地を生かした展望施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度に策定した事業実施計画に基づき、庁内ワーキンググループ等により、施設の概要について検討を進めた。また、都市再生整備計画の策定作業を進めた。

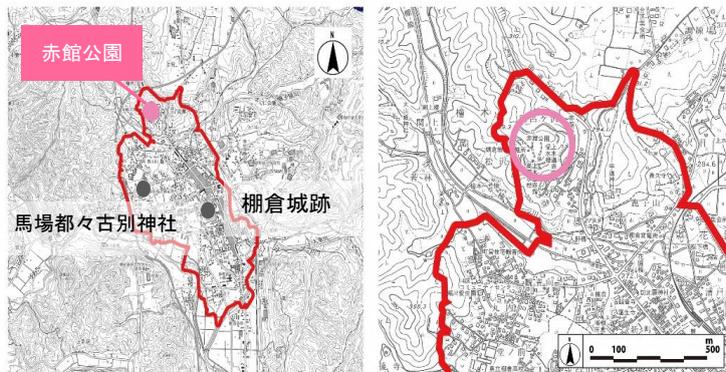
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

整備予定箇所は埋蔵文化財包蔵地であるとともに、文化財部局による調査等が行われている場所であるため、文化財部局と密に連絡調整を行いながら具体的な工法やデザイン等を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



事業位置



赤館公園からの眺望



現在の赤館公園トイレ

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
周遊性向上・案内板等整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和9年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 地域住民等が町内の歴史的建造物や文化財等を楽しみながら効率的に周遊できるルートを検討・構築し、案内板等を設置する。また、町内の案内板等のデザインを統一し、周遊ルートに合わせた案内標識や歴史的建造物等の説明板を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度に策定した事業実施計画に基づき、庁内ワーキンググループ等により、整備内容を検討するとともに、都市再生整備計画の策定作業を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

案内板の所管部署が複数あるため、案内板の調査をしたうえで、庁内ワーキンググループや庁内推進委員会などを活用して、各部署と密に連絡調整をしながら事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等



現在の説明板や案内板

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
多言語周遊型観光パンフレット作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度～令和11年度
支援事業名	町単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致や文化財の分布、歴史的建造物等を含めた町内周遊型のパンフレットを作成する。また、英語や中国語などの多言語バージョンも併せて作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

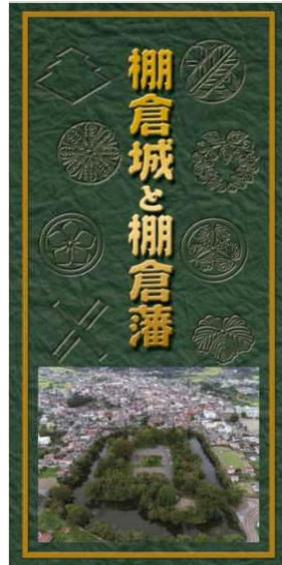
全国京都会議に加盟している小京都と呼ばれる26市町村と共同し、小冊子を作成した。また、棚倉城と棚倉藩を更新し、観光地等に配置した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナ禍により減少した観光客を回復させるため、魅力ある観光パンフレットを作成する必要がある。また、外国人観光客の誘客を見据えて、多言語バージョンパンフレット作成に向けて検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



小京都と京都ゆかりのまち



棚倉城と棚倉藩

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
歴史案内人育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 来訪する観光客に対し、本町の歴史や文化、自然等、本町の魅力について紹介することができる人材を育成するため、歴史案内人の講習や視察等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は棚倉町を訪れた9組、217人に対し、ガイドを実施した。また、ガイド9人で勉強会を実施した。テーマは「小京都たなぐらについて」「ガイドのおすすめコース」
 なお、町民の歴史知識の向上、町への愛着心の醸成を図るために棚倉ふるさと検定を実施し、1級・2級合わせて延べ34人が受検した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史案内人の確保や若い世代の人材育成が課題となる。引き続き、棚倉ふるさと検定等により人材育成を図っていく。

状況を示す写真や資料等




棚倉ふるさと検定の様子

棚倉ふるさと検定チラシ

○棚倉ふるさと検定受検者数
 1級・・・18人(10人合格)
 2級・・・16人(16人合格)

○ガイド実績
 6月24日 29人(棚倉城跡、山本不動尊、蓮家寺)
 7月30日 23人(八槻都々古別神社、八槻家住宅)
 9月20日 25人(山本不動尊)
 10月17日 13人(山本不動尊、馬場都々古別神社、八槻都々古別神社)
 10月20日 15人(棚倉城跡、馬場都々古別神社)
 10月27日 11人(棚倉城跡、玉室和尚謫居跡)
 11月 5日 2人(棚倉城跡、馬場都々古別神社、八槻都々古別神社)
 11月14日 20人(棚倉城跡、赤館公園、八槻都々古別神社)
 11月19日 79人(棚倉城跡)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
小中学生の認識向上推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町内の小中学校と連携し、小中学生に本町の歴史や文化、自然などに関する知識を持ってもらうため、わかりやすいテキスト等の作成や学習会の開催、現地での見学・体験をすることで、子供たちの認識向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和5年 5月25日 棚倉小学校6年生51名、教員4名 赤館城跡等の現地見学と講話
- ・令和5年 6月30日 近津小学校3年生16名、教員1名 八槻都々古別神社・八槻家住宅現地見学と講話
- ・令和5年 7月7日 社川小学校3・4年生54名、教員3名 お枅明神等現地見学と講話

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

町内の小・中学校すべての取り組みとなるよう学校側に働きかける必要がある。

状況を示す写真や資料等



赤館城跡の見学

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
歴史・文化財学習講座事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和11年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 本町の歴史や文化財に関する知識を深めるため、地域住民や地元団体等を対象に歴史や文化に関する講座を開催する。
また、地元の高校と連携しながら、高校生を対象とした出前講座やフィールドワークを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

棚倉町立図書館を会場に、町の歴史を学ぶ講座「棚倉ふるさと講座」を2回開催した。
また、地元高校生を対象とした出張講座を実施し19人が参加した。赤館城跡、棚倉城跡、八槻都々別神社や八槻家住宅を見学し、ガイドの説明を受けながら町の歴史について学んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

町民の歴史知識の向上、町への愛着心の醸成を図るため、継続的に講座等を行っていく。

状況を示す写真や資料等

令和5年度 棚倉ふるさと講座

棚倉町の歴史を学ぶ 全2回

第1回

11/22(水)

14:00～15:30

棚倉町の歴史を学ぶ

～赤館城の遺構と歴史～

【講師】
棚倉町文化財保護審議委員
山田 芳則 氏

第2回

11/30(木)

14:00～15:30

棚倉町の歴史を学ぶ

棚倉町の祭り・行事
～御田植・お餅廻しを中心に～

【講師】
福島県立博物館
学芸員 大里 正樹 氏

場 所 棚倉町立図書館

申込方法 お電話でお申込みください。
お名前、電話番号、参加希望日をお申し出ください。

申込期限 各回、開催日前日の正午まで(定員に達し次第、受付終了となります。)

定 員 各回 30名

受講料 無料

■申込み・お問い合わせ先
棚倉町役場 地域創生課 歴史観光係 TEL 0247-33-2112

月曜～金曜日
(8:30～17:15)
曜日:土・日・祝日

講座チラシ



講座の様子

- 受講者数
- 11月22日 26人
棚倉町の歴史を学ぶ①
～棚倉城の遺構と歴史～
- 11月30日 16人
棚倉町の歴史を学ぶ②
～棚倉町の祭り・行事～
- 合計 42人
- 高校生出張講座
- 11月14日 19人
(赤館城跡、棚倉城跡、八槻都々古別神社、八槻家住宅)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財調査・指定・保存管理に関する取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 町内の指定等文化財については、関係法令等に基づいて、現況を確認しつつ適切な保存・管理に努めるとともに、無形の民俗文化財は活動への支援や助言等を行う。また、未指定文化財は調査を進め、歴史的価値が認められたものについては所有者や管理者などと協議し、歴史的風致形成建造物や町文化財に指定するなど保存・活用に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町内に残る赤館城跡と寺山館跡を中心として国史跡指定化を目指し、調査等を実施した。(令和4年度から令和8年度の5年間で計画)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	職員不足による調査体制への懸念がある。調査体制について検討していく。

状況を示す写真や資料等



赤館城跡



寺山城跡(寺山館跡)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の周辺環境整備・防災・防犯に関する取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財とその周辺環境は、それぞれを別のものとして捉えるのではなく、文化財と一体的に、総合的に捉えることが重要であり、文化財の魅力や周辺景観を阻害している要素が見られる場合には、所有者や管理者などと協議のうえ改善を図る。また、文化財防火デーに合わせて、所有者、地域住民及び棚倉町消防団と連携した文化財周辺での消火訓練を行うとともに、消火設備、防火設備、防犯設備の推奨に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・周辺環境整備として、国指定史跡「流麩寺跡」とその周辺13,000㎡の下草刈等の森林整備を実施した。
 ・文化財防火デーに合わせて実施した文化財防犯訓練では棚倉町消防団の協力を得て、火災防犯訓練等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の所有者・管理者・地域住民・関係機関と連携して引き続き取り組みを行っていく。

状況を示す写真や資料等



流麩寺跡周辺の森林整備



文化財防火デー火災防犯訓練

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の普及啓発・民間団体への助成・支援・連携等に関する取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 広報誌のほか、文化財に関するリーフレット、公式ホームページやSNSでの文化財の情報発信に努める。また、現地説明会の開催や他市町村との情報の共有や意見交換などを通して、広域的な視点からの活動展開と新しい形の活動の充実を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

秋の紅葉の時期に県指定重要文化財「八槻家住宅」にて文化財の企画展を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

多くの展示会を開催するなど、歴史や文化に触れる機会を設ける必要がある。

状況を示す写真や資料等



チラシ



展示の様子

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和5年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
秋のたなぐら・はなわ来て観て	11月4日	福島テレビ	
東北の小京都 棚倉の紅葉を満喫	令和5年10月号	CJ Monmo	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町の歴史や魅力が各種メディアで取り上げられたことにより、本町の歴史等の普及啓発につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

町のホームページやSNSによる情報発信等を検討していく。

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

観光振興に関する取り組み

計画に記載している内容

来訪者に歴史的風致や町内に点在する歴史的建造物や文化財などを紹介するため、観光案内施設や来訪者用施設などの受け入れ環境整備を進めることで、来訪者への情報発信を図る。
また、案内標識や観光案内板などはデザインを統一し、外国人観光客にも対応した多言語の標識や説明板などを整備するとともに、町内周遊型のパンフレットを作成・活用することで、来訪者が歴史的風致や文化財、歴史的建造物などについて理解し楽しみながら効率的に周遊できるルートを構築する。
さらに、来訪者に本町の魅力をスムーズに理解していただくため、本町の歴史や文化、自然などについて紹介することができる人材を育成し、より質の高いおもてなしができる歴史案内人の確保に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和3年度に配布した御城印について、販売の要望が多くあったため販売を開始した。観光協会、ルネサンス棚倉、山本不動産の3ヶ所で販売している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

歴史的風致を生かした観光振興等により、観光入込客数の増加を図っていく。

状況を示す写真や資料等



棚倉城の御城印

○御城印の販売状況

- 1枚：200円
(令和5年度実績)
- ・観光協会 158枚
 - ・ルネサンス棚倉 181枚
 - ・山本不動産 455枚
 - 合計 804枚



修繕工事後の大型観光案内板

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
<p>コメントが出された会議等の名称: 令和5年度棚倉町歴史的風致維持向上計画推進協議会</p>	
<p>会議等の開催日時: 令和6年2月15日(木) 14:30～</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <p>(1) <<③-13: 赤館公園整備事業>> 花見山赤館を創る会というNPO法人が立ち上がったが、その会議等で赤館を通り抜けできる道路が整備できないかという意見が出ている。町としては赤館の国指定史跡を目指す方針で、掘り返しを要する新規の道路整備は困難であることは理解できるが、赤館を観光名所とするには利便性の向上は必須と考える。</p> <p>(2) <<③-3: 史跡棚倉城跡保存活用計画・整備計画策定事業>> 棚倉城跡活用計画策定は実施済みとなっているが、城跡の桜はほとんどが老木で、今後、枯れるなどして桜の名所でなくなってしまう懸念がある。更新計画等はあるのか。</p> <p>(3) <<③-2: 歴史的風致形成建造物保存支援事業>> 今後、城下の建物群も歴史的風致形成建造物として保存していくことが歴史まちづくりにつながると思うが、2025年の建築基準法の改正で小規模修繕ができなくなるため、適用除外の条例を制定している先進市町村を参考に町としての方針を検討したほうが良い。</p> <p>(4) <<③-5: 棚倉城跡周辺道路整備事業>>、<<③-6: 棚倉城下道路整備事業>> 詳細設計を進めているとのことだが、内容がわからないので評価できない。また、街路灯を整備したということだが、紙面上その成果がわからない。ハード整備が本格化する今後は、有識者委員に相談してほしい。</p> <p>(5) <<全体>> 令和6年度は中間評価となるが、今から第2期計画を策定するかを検討すべきだと感じる。2期計画には町独自の景観計画が必須となるが、福島県は「自然」に配慮した景観計画となっており、「歴史」の観点での計画とはなっていないため、策定までには時間がかかることが予想されるということもあり、町として検討する時期にかかっていると感じる。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>(1) 意見があった旨関係部局へ共有は図るが、国史跡指定を目指す以上新規道路の整備は困難である。</p> <p>(2) 桜の更新計画はない。関係部署と連携し、棚倉城跡の保存活用計画のなかで桜はどのような位置づけとなっているか確認をする。また、必要に応じて計画の改訂を行う。</p> <p>(3) 近隣市町村、関係機関に教示いただきながら、棚倉町にあった保存の仕方を調査検討していきたい。</p> <p>(4) 街路灯については、すずらん灯を撤去し、景観に配慮した既設街路灯と同様デザインの電灯を電柱・電話柱に添架した整備をしたが、今後は成果が紙面でわかり、事業評価できるように作成したい。</p> <p>(5) 検討を進める。</p>	